

## 第51回人口問題審議会総会

人口問題審議会（厚生省）第51回総会が、平成2年5月22日（火）午前10時30分より12時30分まで、中央合同庁舎第5号館共用第9会議室において開催された。今回の会議においては、次の3題の報告があり、その報告をめぐって質疑討論が行われた（カッコ内は報告者）。

1. 世界人口白書の概要（田中耕太郎 厚生省大臣官房政策課調査室長）
2. 特別委員会の審議経過について（「国際人口移動に関する特別委員会」委員長  
河野稔果 人口問題研究所所長）
3. 最近の人口動態について（田中耕太郎 厚生省大臣官房政策課調査室長）  
（平成元年人口動態統計の年間推計、昭和63年人口動態社会経済面調査（出生）の概況、児童家庭施策の充実に関する有識者調査）

## 日本人口学会第42回大会

日本人口学会（村松稔会長）の第42回大会は、1990年6月1日（金）と2日（土）の両日にわたり、城西大学（石南國大会運営委員長）において開催された。本大会には首都圏内の会員もホテルに宿泊するなどして、128名の会員が参加し活発な討論を展開した。

本年は学会役員の改選期にあたり、大会直前に行われた選挙によって新役員（理事・監事）が選出され、新理事会で互選により岡崎陽一氏が新会長に推薦され、会員総会において承認された。

新任された役員（任期2年）を示すと次のとおりである（常務理事は会長指名）。

会 長	岡 崎 陽 一（日本大学法学部教授）
常務理事	濱 英 彦（成城大学経済学部教授）
”	山 口 喜 一（東京家政学院大学人文学部教授）
”	河 野 稔 果（人口問題研究所所長）
”	大 淵 寛（中央大学経済学部教授）
”	阿 藤 誠（人口問題研究所人口政策研究部長）
理 事	江 崎 廣 次（福岡大学医学部教授）
”	安 川 正 彬（慶應義塾大学経済学部教授）
”	吉 田 忠 雄（明治大学政治経済学部教授）
”	岡 田 實（中央大学経済学部教授）
”	石 南 國（城西大学経済学部教授）
”	廣 嶋 清 志（人口問題研究所人口情報部長）
監 事	河 邊 宏（日本大学人口研究所教授）
”	兼 清 弘 之（明治大学政治経済学部教授）

シンポジウム、共通論題、自由論題の題名および報告者を掲げると次のとおりである。

第1日（6月1日）

○シンポジウム

「アジアの人口転換」

<司 会> 阿 藤 誠（人口問題研究所）  
石 南 國（城西大学）

1. NIESの場合……………津谷 典子（日本大学）
2. 中国の場合……………早瀬 保子（アジア経済研究所）
3. ASEANの場合……………高橋 真一（神戸大学）

4. 南アジアの場合……………西川由比子 (尚絅女学院短期大学)  
 <討論者> 大友 篤 (宇都宮大学)  
 小川 直宏 (日本大学)

第2日 (6月2日)

○共通論題報告 [A部会]

- 「日本の前近代人口システム：近世後期の人口動態」  
 <組織者> 鬼頭 宏 (上智大学)  
 <司会> 石原 正令 (関東学園大学)  
 1. <転換>前の mortality パターン：日本の経験……………齊藤 修 (一橋大学)  
 2. 近世における出生率の規定要因……………松浦 昭 (神戸商科大学)  
 3. 徳川後期における米価と出生率……………浜野 潔 (慶應義塾女子高校)  
 <討論者> 皆川 勇一 (千葉大学)  
 友部 謙一 (徳山大学)

○共通論題報告 [B部会]

- 「わが国の外国人労働力問題」  
 <組織者> 大淵 寛 (中央大学)  
 <司会> 兼清 弘之 (明治大学)  
 1. 外国人就労者の現況……………廣嶋 清志 (人口問題研究所)  
 2. 今後の労働市場と外国人労働力……………樋口 美雄 (慶應義塾大学)  
 3. 外国人労働力導入のバランス・シート——西欧の経験と教訓——……………吉田 良生 (朝日大学)  
 <討論者> 丸尾 直美 (中央大学)  
 依光 正哲 (一橋大学)

○自由論題報告

第1日 (6月1日)

- <座長> 森岡 仁 (駒沢大学)  
 1. 女子の結婚および出生構造の動向……………石川 晃 (人口問題研究所)  
 2. コウホート結婚年齢分布に対する曲線のあてはめ……………大谷 憲司 (関西大学)  
 <座長> 柏崎 浩 (東京大学)  
 3. メキシコの出生力とその性格——メキシコの人口問題と人口政策——……………西岡 八郎 (人口問題研究所)  
 4. 農家人口の戦後における出生力低下の実証分析……………松下敬一郎 (龍谷大学)  
 5. 日本の人工妊娠中絶に関する文献の検討……………佐藤龍三郎 (国立公衆衛生院)  
 <座長> 河邊 宏 (日本大学)  
 6. 都市内人口分布の中心点に関する新しい概念……………井上 孝 (筑波大学)  
 7. 地域間就業格差と広域人口移動 (1955年～1985年)……………伊藤 薫 (名古屋市統計課)  
 8. 地域経済と福祉水準——福祉指標によるアプローチ——……………新田 功 (明治大学)  
 <座長> 江見 康一 (帝京大学)  
 9. 労働市場の変貌と日本経済……………大淵 寛 (中央大学)  
 10. 高齢化の経済学……………伊部 英男 (日本社会事業大学)  
 <座長> 濱 英彦 (成城大学)  
 11. 子供の人口学的状況の変化……………坂井 博通 (人口問題研究所)  
 12. 世帯形成行動に関する指標——世帯主率で測る家族制度——……………伊藤 達也 (人口問題研究所)  
 <座長> 大林 千一 (総理府広報室)  
 13. 医療人口学的観点から見た人口現象  
 ——データベースの構築について——……………倉科 周介 (東京都立衛生研究所)  
 池田 一夫 (東京都立衛生研究所)  
 大橋 誠 (東京都立衛生研究所)  
 14. 作物別農業就業人口の推計……………唯晃 康彦 (千葉大学)  
 三浦 洋子 (千葉経済大学)  
 15. 都道府県別人口の将来像——一つの試み——……………安川 正彬 (慶應義塾大学)

第2日(6月2日)

- 〈座長〉 坪内 良博(京都大学)
16. 社会的通婚の計量法……………鈴木 透(人口問題研究所)
17. 人口学的事象による生活段階の社会経済的属性による変化……………渡邊 吉利(人口問題研究所)
18. 死亡および結婚の変化とライフサイクル変数の変動  
—結婚の多相生命表にもとづく分析— ……………高橋 重郷(人口問題研究所)
- 〈座長〉 伊藤 秋子(実践女子大学)
19. 配偶関係構造の変化……………嵯峨座晴雄(早稲田大学)
20. 性比の人口分析:結婚スクイーズと寡婦(女)……………河野 稠果(人口問題研究所)
- 〈座長〉 今井 英彦(流通経済大学)
21. オーストラリアにおける砂糖産業の発達と太平洋諸島民……………長山 光治(城西大学)
22. マレーシアにおける国際労働力移動……………大塚 友美(日本大学)
23. アジアからの労働力移動に関する分析……………小川 直宏(日本大学)
- 〈座長〉 岡田 寶(中央大学)
24. 中国における人口流動“盲流”——就学生・偽装難民流出の背景——…若林 敬子(人口問題研究所)
25. 人口政策としての外国人労働者受け入れ  
—フランスの事例を中心として— ……………小島 宏(人口問題研究所)
- 〈座長〉 鈴木 継美(東京大学)
26. わが国の死亡率はいつから低下したか?……………勝野 真人(国立公衆衛生院)
27. 世代生命表と Separating Factor について……………飯淵 康雄(琉球大学)
- 〈座長〉 小林 和正(日本大学)
28. 死因別死亡率のパラメタライズドモデル……………南條 善治(東北学院大学)  
重松 峻夫(福岡大学)  
吉永 一彦(福岡大学)
29. 成人病の死亡構造の法則性とそれに影響を与える要因の分析……………堀井 洋一(東京大学)  
郡司 篤晃(東京大学)
- 〈座長〉 岡崎 陽一(日本大学)
30. 東北地方一農村の結婚と出生, 1760—1870……………木下 太志(アリゾナ大学)
31. 日本における前工業化社会の人口移動の特徴……………石原 正令(関東学園大学)
- 〈座長〉 加藤 寿延(亜細亜大学)
32. 19世紀末英国ランカシャにおける婚姻率に関する一考察……………原 剛(城西大学)
33. 清朝における人口爆発とその経済, 社会的要因……………尹 豪(中央大学)
34. 家族形態の変動の国際比較——日本と中国——……………黒田 俊夫(日本大学)  
(廣嶋清志記)

## 日本人口学会関東地域部会第5回研究報告会

1990年6月30日(土)午後2~5時, 東洋大学浦水会館において, 岡田寶 関東地域部会担当理事(中央大学)と小苺米清弘 運営委員長(東洋大学)の御尽力により, 日本人口学会関東地域部会第5回研究報告会が開催された。濱英彦座長(成城大学)の司会により以下の2つの報告が行われた。

1. 健康指標としての就床率の動向……………林 玲子(東京大学)
2. コーホート変化率法による小地域人口推計の経験  
—北区からバグダッドまで……………河邊 宏(日本大学)

21名の出席者によって活発な議論が行われ, 予定の5時を20分ほど超過した。